



ぱわ～あつぶ まいた

29

令和5年9月発行

令和5年度 蒔田地区懇談会

5月12日ビエラ蒔田にて「地区懇談会」が開催され、「もう一度見直し住みやすい街づくりをめざして」をテーマに、各町内会、高澤南区長他行政関係者、福祉関係者の皆さんが出席しました。

初めに、蒔田地区の多世代交流に力を注いでいる3団体の活動発表がありました。

①蒔田っ子学援隊（佐藤代表）

蒔田小学校の登校ルートに老人会が中心となり、堀畠地区と協力して63名が5つのコースに毎日立って子ども達の登校を見守っている。子ども達を見守り挨拶を交わす事で住みやすい地区になる事を願っている。学援隊のベストを着ていると元気が出るし、子ども達からも元気をもらえるので続けていきたいと思う。

②共進町一丁目町内会（宮代会長）

子ども会活動が盛んで、6月地域の大人も参加して昔遊びの園遊会・7月地域の事業所の協力の下そうめん流し・8月縁日・11月ハロウィーン・12月クリスマス会など地域の皆さんの協力で楽しく活動している。

③宮宿花一・二丁目子ども会（工藤会長）

子ども会でゴミ拾い・お楽しみ会・縁日をしているが、子ども会だけでなく町内会の皆さんに協力をしてもらい楽しんでいる。ハロウィーンは最初の2018年には参加した子どもは30名程だったが、2021年には町内会以外の子どもの参加も可能にし、2022年には約200名の参加があった。町内会の高齢者の家でお菓子を配ってもらったり町内会の皆さんや卒業生が交通整理をしてくれたりと、皆が協力して楽しいイベントに成長した。

○グループワークでの意見・・・町内会でも子どもの人数が少なくて子ども会が休会になっているところもある。子ども会だけでは成り立たず、ラジオ体操などは老人会と一緒にやっている。公園でのボール遊びが禁止で外遊びがつまらない。子どもも塾や習い事で忙しい。町内会館がないので集まる場所がない。挨拶から繋がりができる。一つの町内会だけではできないので連合全体で何か楽しいイベントを考えて欲しい。

○南区役所地域振興課課長のまとめ・・・新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、地域の繋がりが難しくなっていたが少しずつおさまりを見せている中、地域に住む皆さんと同じ目的・同じ時間・同じ場所で活動する事でまとまっていくと思う。防災など共通の目的に向かって次世代・子育て世代に働きかけていって欲しい。



佐藤代表



宮代会長



工藤会長

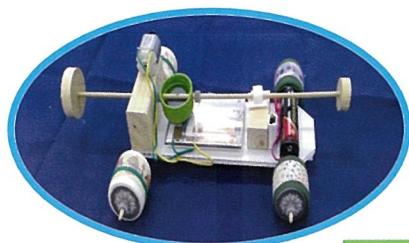


蒔田理科クラブ「スイッチバックカーを作ろう」

7月28日蒔田コミュニティハウスにて「第6回蒔田理科クラブ」を開催、小学1年生から6年生までの男女30名が参加しました。

今回のテーマは「スイッチバックカーを作ろう」でこれまで通り日立横浜理科クラブの先生方の指導で、配布された資料とスクリーンに映し出された組み立て手順を見ながら、車輪の組立て、モーター・スイッチの取付けと、順序よく組み立てを行いました。皆さん苦労しながら組立て図面を見たり、わからない所は先生に質問をしながら車の完成を目指しました。完成後は走行テストを行い、それぞれが上手く動く事を確認しました。

物を作る楽しさ、完成し動いた時の喜び、車が前後に動く仕組みなどを学び、参加した皆さんから“今日は楽しかった”との声が多く聞かれました。



大工さんと一緒に木工教室

8月20日蒔田コミュニティハウスにて「第2回大工さんと一緒に木工教室」を開催、小学2年生から6年生までの男女15名と保護者の方が参加し、スリッパ立てを作りました。

指導する先生は「横浜建設一般労働組合みなと支部」の11名の大工さん達で、普段は家を建てる仕事をしています。切り分けられた木材にサシガネを使って印を付け、カナヅチで釘を打って組み立てていきます。次は自分の好みの角度に斜めにノコギリでカットし、ヤスリで全体の面取りをして完成です。生徒の皆さんからは、ノコギリの使い方が難しかったけれど、大工さんに丁寧に教えていただき完成できてとても楽しかったと大変好評でした。またこのような教室があったら参加したいとの声が多く聞かれました。



夏祭り

新型コロナウイルス感染症のため3年間開催できなかった夏祭りですが、今年は多くの町内会で夏祭りやイベントを行うことが出来ました。

東蒔田第一 子ども神輿・縁日

8月19・20日開催



東蒔田第二 盆踊り

8月17～20日開催



蒔田第二 神輿

8月19・20日開催



蒔田第三 盆踊り

8月25日開催



宮花宿三・四 盆踊り

8月16・17日開催



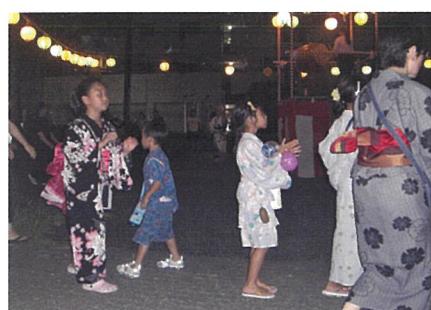
共進町一丁目 縁日

7月22日開催



宮宿花一・二 盆踊り・縁日

8月19・20日開催



共進町三丁目 お楽しみ会

8月6日開催



蒔田地区社協・民児協合同研修『障がい理解講座』開催

3月13日蒔田コミュニティハウスで、kokuaの皆さんを講師にお迎えして障がい理解講座を開催し、民生委員17名と社協関係15名の皆さんのが参加しました。kokuaは知的障がい児者の親による障がい理解啓発グループです。

参加者は最初に、身振り手振りせず、「あー」「うー」の声だけで、相手に事柄を伝えたり、軍手をして折り紙を折ったりと、障がいとはどんなものなのかを疑似体験しました。次にビデオを見て、知的障がいがある方は、急なスケジュール変更が苦手であること、大きな音や声、急に体に触られることが苦手でパニックになることなどを学びました。

なお、kokuaの皆さんには、災害時避難所などの生活を心配されています。大きな声や音、慣れない広い空間、知らない人、そして言葉がわからなかったりしたら…と。そんな時は、周りの人気が気を配って欲しい、障がいのある人でもできる事はあるので一緒に活動したいとのことです。



コミュニケーションボード
障がいのある方と意思疎通を図る際に使用



kokuaのみなさん

新役員紹介（令和5年度）

①役職名 ②氏名 ③町内会名 ④ひとこと

- ①自治会長
②森下和広
③ルネ蒔田
④地域活動に協力し貢献したい。



- ①自治会長
②早川和男
③朝日マン
ション
④新米の会長です。よろしくお願ひします。



- ①自治会長
②片山英三
③アルス蒔田
④初めての事で、分からぬ事ばかりですが、精一杯努めて参ります。



- ①子ども会
蒔田支部長
②工藤こずゑ
③宮宿花1・2
④参加して良かった！と感じられる子ども会を目指して活動していきます。



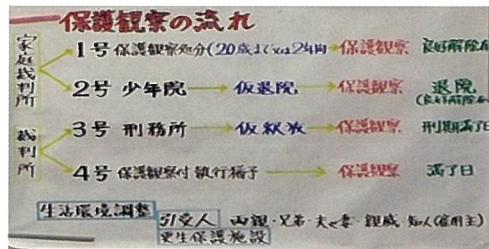
映画の夕べ



7月22日青少年指導員協議会主催の「映画の夕べ」を4年ぶりに保坂ビル1階（共進町一丁目）で開催し、感染対策をしながら61名の子ども達が集まりました。映画のタイトルは『映画ドラえもん 新・のび太の日本誕生』で、子ども達は、冷たいジュースを飲みながら久しぶりに映画を楽しみました。鑑賞マナーも素晴らしい、青少年指導員の方々も、久しぶりのイベントを無事に終えられたことを大変喜んでいました。

蒔田連合ミニ集会

8月4日ビエラ蒔田で「蒔田連合ミニ集会」を開催しました。ミニ集会は社会を明るくする運動の一環で、生きづらさを抱えている人を理解して蒔田全体で犯罪のない明るい社会にしていこう！という趣旨で毎年行われています。まず、南保護司会の工藤昌代会長から保護司の仕事が紹介され、次に理解を深めるためのビデオを鑑賞しました。ビデオの内容は、一人の高校生が家庭での生きづらさから犯罪を犯し、保護司の力を借りて立ち直っていくというものでした。蒔田地区には3名の保護司がいて、保護観察を担当していて2週間に1度面談を行い更生に導いているとの事でした。とても貴重なお話でした。



社協のホームページ「ぱわ～あっぷまいた」もご覧下さい。「蒔田地区」や「蒔田社協」でも検索できます

■発行元 蒔田地区社会福祉協議会

■編集責任者 加藤一雄 ■編集委員 渡辺豊・鈴木久美子・本田史己

■広報部 E-mail:kouhou@maitashakyo.com URL: <https://www.maitashakyo.com/>